

第 2 2 章

災害及び事故

第2章 災害及び事故

水稲被害

平成18年における府内の水稲被害の概況は、被害面積12800ha、被害量1870t、被害率6.1%で、前年に比べ被害面積は5820ha(83.4%)の増加となり、被害量は62.6%の増加となった。

労働災害

平成18年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が101人、負傷者(休業4日以上)と合わせて9587人で、前年より474人の増加となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が2586人で全体の27.0%を占め最も多く、以下、建設業1596人(構成比16.6%)、商業1396人(同14.6%)の順となっている。最も多い製造業の中では、金属製品製造業が743人と大きな割合を占めている。

火災

平成18年における府内の火災件数は、前年より192件減少し3375件(前年比5.4%減)、死傷者は20人減少し819人(同2.4%減)となっており、損害額は15億7887万円減少の53億4450万円(同22.8%減)であった。

月別では、1月の357件(構成比10.6%)が最も多く、次いで8月の346件(同10.3%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が1334件(構成比39.5%)で最も多く、次いで北河内地域440件(同13.0%)、泉北地域437件(同12.9%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ57件減少し1309件(前年比4.2%減)で最も多く全体の38.8%を占め、次いで、

「都市・プロパンガス関係」が1件減少し516件(前年比0.2%減、構成比15.3%)となっている。

また、平成18年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より640棟減少し24万8612棟(前年比0.3%減)となった。

交通事故

平成18年における府内の交通事故発生件数は、6万2834件(前年比4.9%減)、死者255人(同4.9%減)、負傷者7万5485人(同5.1%減)となった。

事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係6万671件、歩行者57件、不明2106件となっている。

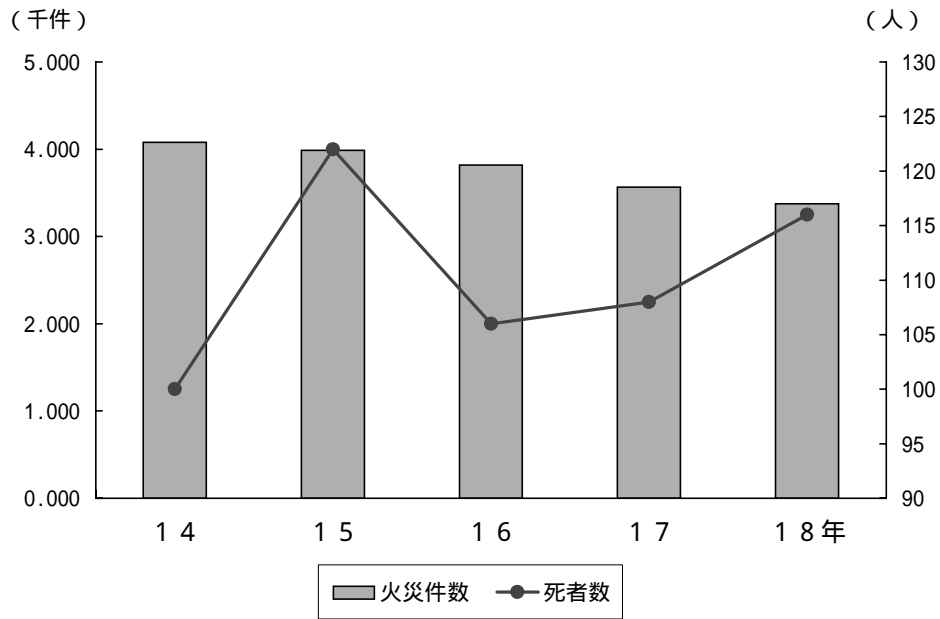
このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が3万787件と50.7%を占め最も多く、以下、軽乗用車7512件(構成比12.4%)、普通貨物自動車7471件(同12.3%)、軽貨物自動車5406件(同8.9%)、原付(50cc以下)4321件(同7.1%)の順となっている。

また、法令違反別にみると、安全不確認2万9062件(構成比47.9%)、前方不注意9954件(同16.4%)、動静不注視7170件(同11.8%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて5019件で、死者74人、負傷者5120人となっており、横断中の事故が2923件と全体の58.2%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、88万6864件(前年比5.0%減)でこれを都道府県別にみると、東京都の7万4287件(構成比8.4%)が最も多く、以下、大阪府6万2833件(同7.1%)、愛知県5万8005件(同7.1%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

